



No. 46号

発行・編集
東成瀬村議会
議会事務局
電話 2332番
印刷
(株) 増田印刷所



勤労体験学習(一人一むね栽培)
百周年を迎えた生徒数17人の大柳小から

教育施設の問題点と実態を確認

村内学校等施設を視察

去る9月27日・28日の両日、教育民生常任委員会では、村内小中学校並びに付帯施設又、保育所・学生寮・給食センター等を視察し当面する諸問題と実態を確認した。

視察の結果、急を要すると思われる件については、即日各担当課に善処方を申し入れた。

9 月 定 例 村 議 会

57年度決算認定（一般会計 6,442万7千円の黒字）

58年度一般会計予算〔公債元金繰り上げ償還分(5,480万1千円)等8,241万6千円を追加〕の累計は15億650万5千円に

九月定例村議会のあらまし

九月定例村議会は、九月十九日午前十時に開会され、会期を二十六日までの八日間と決定したあと、村長が行政報告を行った。

上程された議案は、五十八年度一般会計補正予算案など十六議案と報告一件で、九月十九日で任期切れとなった、固定資産評価審査委員三人の、再任に同意、決算特別委員会に付討した五十七年度一般会計決算と国保事業など、六特別会計決算を認定、三十日で任期切れとなる、村教育委員会委員の再任に同意健康保険制度改正反対に関する意見書案を原案どおり可決したほか、五十七年度継続費精算報告書を承認、陳情二件を採択、又、五十八年度一般会計補正予算案など六議案を、原案どおり可決した。

一般質問では、後藤作議員が村政を質した。

議案第三十九号 東成瀬村 固定資産評価審査委員会委員の選任について
九月十九日で任期満了となる左記の現委員三人の再任に同意

したものである。（任期三年）
沼倉 喜一（四十六才） 田子内 佐々木助廣（五十三才） 岩井川 高橋通太郎（七十六才） 椿 川

議案第四十号 東成瀬村教育委員会委員の任命について
九月三十日で任期満了となる左記の現委員一人の再任に同意したものである。（任期四年）
谷藤傳一郎（七十四才） 岩井川

議案第四十一号 東成瀬村 村有地交換の件
村が、村立東成瀬小学校々庭拡張のため、東成瀬村森林組合所有地（田子内字上野十二の七）を必要とするため、村有地（田子内字上野七十四）と交換するものである。

議案第四十二号 東成瀬村 村有地交換の件
村が、村立東成瀬小学校々庭拡張のため、菊地伍輔所有地、（田子内字上野十二の六）を必要とするため、村有地（田子内字上野四十六の四）と交換するものである。

議案第四十三号 昭和五十八年度東成瀬村一般会計補正予算（第三号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ八千二百四十一万六千円を追加し、予算総額を、十五億六千五百五十万五千円としたもので、歳入の主なもの、地方交付税増（五千三百三十三万）、前年度からの繰越金増（二千六百六十四万二千円）等であり

歳出では、公債元金繰り上げ償還分（五千四百八十万一千円）、元間木線、焼石線測量設計委託料（四百七十万円）等のほか、農業用施設災害復旧費が主なものである。

議案第四十四号 昭和五十八年度東成瀬村農業用機械管理特別会計補正予算（第一号）
既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ一百九十六万円を追加し、予算総額を、一千二百五十八万七千円としたもので、歳入の主なものは、前年度からの繰越金増（二百五十万円）等であり、歳出では、自動車購入費（一百三十八万七千円）が主なものである。

議案第四十五号 昭和五十八年度東成瀬村老人保健特別会計補正予算（第一号）
既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ二百四十四万

追加し、予算総額を、一億一千七百八十八万四千円としたもので歳入の主なものは、前年度からの繰越金（二百九十七万一千円）等であり、歳出では、償還金（一百八十五万四千円）等が主なものである。

議案第五十三号 秋田県市町村職員退職手当組合規約の一部を変更する規約
湖南地区衛生処理組合より新規加入の申し込みと昭和町飯田川町衛生処理組合が解散したことにより規約の一部を変更するものである。

議案第五十四号 健康保険制度改正反対に関する意見書の提出について
政府は、今の健康保険制度を五十九年度から、①「本人給付十割から八割への引き下げ」②「退職者医療制度を設立し国民健康保険への国庫補助削減」③「給食費、薬剤費への患者負担導入」④「診療報酬の合理化による医療費抑制」などに改訂する予定と伝えられている。

このような改訂は、住民の生命と健康を守るうえから、見逃すことはできず、東成瀬村議会は、全会一致で、内閣総理大臣厚生大臣に対し、改訂しないよ

厚生大臣に対し、改訂しないよ

九月定例村議会

村長行政報告

誘致企業等二社操業へ 公債費を繰り上げ償還す 各種事業の進捗は順調

第七回定例村議会の開会にあたり上半期における村政の執行状況と今後の対応等について、所信の一端をのべ、各位のご協力とご理解をいただきたく存じます。

我々地方自治を取り巻く環境は、非常に厳しいものがあり、そうした中で国の五十九年度概算要求予算が、各府庁から提出されております。大蔵省の方針としては、五十八年度のゼロシリングからマイナスイリングという大変に厳しい方針が打ち出されているが、ただ国税三税の伸びがある程度見込まれることから、国の経済が活性化し、除々に好転していることを示しております。安定した経済建設を期待し、地方交付税が、減額という最悪の事態とならぬよう今後の経済復興を、期待するものです。

そうした中で、五十八年度も早や六ヶ月を経過しようとして

おります。各種事業もおおむね順調に推移しており、かねてから要望していた、村振興のための方向づけの一助とする産業振興コンサルタントを、八月二日～五日までお願いして調査していただきました。

そ葉園芸の振興と方策を、東北大学の堀教授が担当、講評では、そ葉経営は非常に天候に左右され、白菜価格がおおむねその目途となり、三年に一回は高価格となるが、あとの二年間は低落し、この二年間をどうするか大きな問題となるようです。観光開発について千葉大学助教の白井先生が担当、成瀬ダム、あるいは大柳沼周辺の林構事業を含めた、広範にわたる視野から調査し、まず栗駒、成瀬ダムを一本化として考える時、国道三四二号線の改良が先決であり、ダムは観光の目玉としては難しく、むしろ大柳沼周辺の、天正の滝を中心とした青少年の



行政報告する後藤村長 58.9.19

キャンパ研修、あるいは中央企業の研修地としての位置付けを考えたかどうかということでした。

次に、林業と林産物の振興と方策について、岩手大学の船越教授が担当され、国の官庁造林との関連性、森林総合整備計画に基づく制度の活用を、強く求めておりました。また杉の将来性については、不安材料がないと断定され、山菜、椎茸、特用樹については、期待される方向があるということでした。

以上がコンサルタントの概要ですが、これらは直ちに、村の振興につながるものでもないとは思いますが、これを参考に、村独自の振興を、進めていく必要があると考えています。

次に五十九年度から、五ヶ年計画で、ミニ総合パイロット事業の採択要望しておりますが、比較的、広範囲の事業が可能で、今までの補助事業計画から、除

外される小規模事業もやれるため、今後、継続的に進めてまいりたい所存です。

懸案の成瀬ダムは、建設省、農林水産省ともに調査が順調に行なわれ、結果は集約中ですが予定通り、本工事に向かって、努力する所存であります。このダムの建設によっておこる、関連企業の進出、地場産業の振興、拡充、過疎の歯止め、村民の職場の確保、あるいはダムを取り巻く周遊道路建設による、奥地開発等、ぜひ実現したいものだと思います。

また、村内雇用の図るべく、企業誘致を進めておりましたが、幸い旧田子内保育所に湯沢市並木精密宝石秋田工場から、元請で部品製造する、東成瀬村精密工場の操業を、十月を目途に、現在二十二名が実習中で、軌道にのると、三十五名程になる見込みです。一方、菊地金属工業につきましては、水沢市にある会社の直属で、分工場となりますが、旧樺川保育所で、十三名が、操業しておりますが、今後、二次、三次の募集をする意向のようです。

う、強く要望し、意見書を提出した。

報告第三号 昭和五十七年度東成瀬村継続費精算報告書

五十五年度から、継続費の設定された、新農業構造改善事業と、香沢地区かんがい排水事業が五十七年度で終了したことにより、その精算を報告したものである。

やや良に推移しているようです。が、詳しいことは、収穫時をもって調査したいと思っております。

温泉ボーリングについては、十月初旬を目途に、岩井沢林道添いの水田付近に五十メートルの地温調査ボーリングを実施し、結果により更に一、二本の探掘をしてみたいと思っております。

一方畜産では、八月の市場が最近になく低調で、非常に心配されましたが、最近農業新聞等によると上昇傾向にあるようである。期待するところでは、

尚、今定例会に提案しております一般会計補正予算では、公債費対策として懸案の、繰り上げ償還金五千四百八十万円を計上しております。

(事業進捗状況は割愛します。)

一 般 質 問

9月定例村議会の一般質問は、9月24日に行なわれ、後藤作議員が村政を質した。



質問する後藤作議員

- 質問事項 { ①官行造林伐採跡地利用について ③自動車購入及び整備について
 ②過疎振興計画について ④議会の会期に関して

尚、地元で植林したいと考えているやどのことについては、今後、調査の上、対応したい。

栗の植林については、以前、長倉に試験植林したところ、経費的に大変であり、栗にかわる良い物をと、先生方に依頼した。いずれ、大柳沼周辺の官行造林跡地は、五十五・五町歩返地されており、林構計画での栗、

今年度は、五里台後山に、十町歩の植林計画を、当初予算に六百四十八万円を計上し、その作業道も、半分程できており、今後、ご趣旨に向って、大いに努力したい。

合が、なかなか決まらず、昨年から、その配分と、入り合い権が決まり、跡地利用について話し合った。

答弁 官行造林伐採時点で、各部落の入り合い権、還付金の割合が、なかなか決まらず、昨年から、その配分と、入り合い権が決まり、跡地利用について話し合った。

質問 大柳沼上、ヨリコ台、五里台後山等、官行造林伐採跡地が、いまだに、そのままになって

観光面での、温泉ボーリングは、どうなのか。又、村の計画書にない岩ノ目橋の建設が、五十九年度から二年間で、三億円の子算計画となっているが、事実か。

産業関係では牛の畜産、五頭以上の多頭飼育を目指した肉用牛繁殖育成センターの建設、畜産の赤字補填の解消等の見通し。工業については、男子型企業の誘致。

次に、教育文化施設については東小にプールの見直しはどうか。又、生活環境、福祉関係では児童館、老人憩の家、農産物生産畑の造成、家畜舎の建設。

宮田地区の農道舗装で、国道と平行している農道を主に舗装するならば、国道の改良と農道は両立するのか。

質問 五十五年から五十九年までの村振興計画は、余すところ一年余となったが、六つの基本方針のそれぞれが、かなりの評価をみていることは、喜ばしいことだと思ふ。反面、大事な点に遅れがでているのではないかと

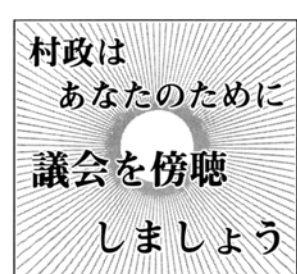
いた。現在、過疎振興計画は、五十九年度までの計画で、中には未着手のものもあるが、全国的には、八十パーセントできておると考えております。土地移転等難問題はあるが、今後、大いに努力し、計画どおり進行させたいと思ひます。

田園畜舎については現在の牛の価格が、容易でなく、畜産センターに対する赤字補填でも、ご迷惑をかかていることから、今後、財政とにらみあわせて行きたい。温泉ボーリングについては、今年中に、試験ボーリングを終りたいと希望している。

五十九年度から予定しているミニ総合パイロット計画は、地域指定があり、採択されなければならず、これを強く要望しております。宮田地区については机上の計画段階であるが、土地問題は大きいと思う。田子内プールのについては、BアンドG財団から申し込みがあり、約束はできないが努力したい。工業用地は今の段階では、できる状況ではなく、やむをえず、今の宿借りの方法でお願いして、来ていただくしております。

国道三四二号線改良では、香沢から滝ノ沢については、六十年年度から本格的な予算を盛りたいというのが県の考えのようだ。ただ、土地問題が容易でないと思つている。

質問 村自動車の購入については、村内業者の納入は二台のみであり、今後は、村内業者にも見積りを出させ、できれば優先的に発注や、整備をさせるよう配慮するべきと思ふが。



質問 議会の開会中は、できるだけ、村行事を、さけるようにしていただき、充分、日程を取れるようにしていただきたい。

整備についても、ご趣旨に添えるよう話してみます。今後は必ず村内業者にも見積りを出させるよう配慮いたします。

答弁 自動車の購入は、運転手や、その他関係者の意見を聞き、公平にやっているとあります。

ムシノ橋のことで、県代行で、橋を架ける交渉は終り、今、七メートル幅の予算を、建設省と交渉中で、六十年年度を目途に、努力してまいりたい。

57年度決算特別委員会 審査報告

(決算の詳細は村広報に)

九月十九日の本会議で、決算特別委員会を設置して委員六人を選任、委員長に柳邦夫氏、副委員長に後藤作氏を決めたあと五十七年度歳入歳出決算の審査を同特別委員会に付託した。これを受けて同特別委員会では、九月二十、二十一日の両日、決算を審査した結果、一般会計外、六特別会計の決算を適正と認め、二十六日の本会議で、同特別委員会委員長より報告されり報告された。



審査報告する柳委員長
58. 9. 26

委員長報告から

去る十九日の本会議で決算特別委員会が設置され、選任された昭和五十七年度決算特別委員会を、休会中の二十日、二十一日の両日に開催いたしました。付託を受けた議案第四十六号昭和五十七年度東成瀬村一般会計歳入歳出決算の認定から、議案第五十二号、昭和五十七年度東成瀬村老人保健特別会計歳入歳出決算の認定までの七議案を、委員全員及び議長の出席を得、又当局より収入役、教育長、各課長の出席を求めて慎重に審査いたしました結果、後藤作議員を除く全員が、全議案認定すべきとの意見の一致をみましたのでここに報告いたします。

補助に頼らず、農家が意欲的に取り組める畜産の将来像を

特に畜産業費に関しましてあり

決算特別委員会委員	
委員長	柳 邦夫
副委員長	後藤 作
委員	佐々木 勇治
委員	佐々木 雄治郎
委員	鈴木 健吉
委員	菅原 長栄治

ますが、村内の牛の飼育頭数が漸次減少している現在、畜産センターの累積赤字は牧場をあわせると、一千三百四十六万二千六百四十二円となっており、この解消は全くと不可能と聞いております。加えて牛の市場価格は好転せず、逆に牛一頭売るのに十万円円の赤字になることから今後運営並びに、技術面から、赤字補填は村が行なうからという安易な考え方でなく、農家が意欲的に取り組める畜産の将来像を、農協と共に、もつと真剣に考えていただきたい。

幼児から、義務教育まで、一貫した集団教育方針・教育行政を

次に、教育助成費の、村單講師委託料四百三十万三千四百二十二円に關してですが、現在、椿川小学校、大柳小学校に、それぞれ一名の村單講師を委託して

いるわけですが、特に大柳小学校の在學生は十七名であり一部複式であるわけです。子供達の将来を考える時、今後増える見込みがないということから、複式を解消するというところだけでなく、幼児教育から義務教育まで、一貫した集団教育方針、教育行政が必要であると思われます。これは一朝一夕にしてできる事ではなく、地域の理解と、協力のもとに進めるべきものであり、早急に検討されるよう望むものであります。

十文字学生寮の運営は再検討すべき時期では

又、十文字学生寮についてはありますが、歳入合計は、昨年比九十四%の七百八十八万八千七百三十九円であるが、このうち一般会計からの繰入金金は、昨年比五十九%の六百十万円と増え、歳入合計の七十八%に達しております。これは、入寮者が減少しているためです。当村の高校在學生約百八十名のうち、入寮者が十四名という状態での運営は、少数者に特点を与えるという事で、公平を欠くことになります。厳しい監査委員の意見もあるように、寮の開設当初の目的は果たしているものと思われ

第6回臨時村議会

第六回臨時村議会は八月六日午前十時に開会され、会期を一日間と決定した。上程された議案は、五十八年度一般会計補正予算案一議案を、原案どおり可決したほか陳情一件を採択しました。

議案第三十八号
昭和五十八年度
東成瀬村一般会計補正予算(第二号)

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ二百九十七万九千円を追加し、予算総額を、十四億二千四百八十九千円としたもので、歳入の主なもの、前年度からの繰越金(一百七十八万五千円)等であり、歳出では、建設機械庫解体工事費(八十五万円)、椿川小学校地震災害復旧工事費(八十九万五千円)等が主なものである。

現在、今後の運営等、その他に対して、十分検討して改善するよう努力すべき時期にあると思ひます。以上を加えて報告いたします。

全員協議会を開催 村議会議員の定数削減を議題に

結論は

次の選挙

までに!!

村議会は、九月九日、全員協議会を開き、村議会議員定数の削減について話し合い、今後、住民の意見を聞きながら、検討を重ね、次の選挙までに、結論を出すこととした。

我が村の議員定数十六人は、法で定められている、「人口二十人以上五十千人未満の町村は、十六人」の法定数であることから、法的に問題はない訳だが、厳しい行財政のなかで、地方行政の簡素化と効率化がさげばれている現状から、定数削減について、地域住民の関心は、今後、次第に高まる事が予想される。ただ、村議会の役割として、行政執行機関に対し、対等な立場で牽制し、住民の意思を反映させる機能が、「定数削減」により「機能低下」の危険も考慮すべきことから、慎重に、「適正定数」について検討を進めることとした。

請願・陳情

審査結果

第六回臨時村議会（八月六日）で審議された陳情は次のとおりである。（採択と決定）

〔陳情第十号 定時制高校の閉校に関する陳情〕

定時制東成瀬分校が創立以来三十四年の歴史を閉じることとなり、廃校式を実施するにあたり、その経費の一部について、ご配慮を賜りたい旨、陳情したものである。

陳情者 秋田県立増田高等学校
校定時制東成瀬分校
準備委員長 後藤 作
外 十一名

九月定例村議会（九月二十四日）で審議された陳情は次のとおりである。（採択と決定）

〔陳情第十一号 十文字駅業務の民間委託取止めについての陳情〕

陳情者 国鉄労働組合横手支

部執行委員長 鈴木 定雄
〔陳情第十二号 健康保険制度改善反対に関する陳情〕

現制度を改訂することにより住民の医療費負担が激増することから、これを改訂しないよう陳情したものである。

陳情者 秋田の医療と福祉をよくする会
代表委員 井上 ハナ外六名

事務局

日誌より

6月17日	医師住宅上棟式	7月5日	議員県外研修（真室川町・鳴子町）
6月19日	ます釣り大会（真戸）	7月12日	国道三九七号線整備促進陳情（建設省）
6月20日	湯沢・雄勝広域圏組合臨時議会（湯沢）	7月15日	岩小プール竣工式
6月21日	手倉簡易水道竣工式	7月20日	国道三四二号線整備促進総会（石巻市）
6月22日	東成瀬中学校運動会	7月22日	交流野球（商工会）
6月23日	ヒョウ災害現地調査（産業建設常任委員会）	7月25日	交流野球（皆瀬村）
7月1日	県高速交通体系整備促進協議会（秋田）	8月3日	雄平二郡議員研修会（湯沢市）
8月5日		8月5日	消防訓練・競技会
8月6日		8月6日	第六回臨時議会招集
8月8日		8月8日	交流野球（増田町）
8月15日		8月15日	成人式
8月16日		8月16日	十文字駅業務民間委託取り止めについての陳情（秋鉄局）
8月21日		8月21日	第一回ミス山ゆりコンテスト（香沢）
8月25日		8月25日	全県町村議会研修会
8月27日		8月27日	交流野球（農協理事）
8月28日		8月28日	椿小百周年記念式典
8月29日		8月29日	県の記念日（秋田）
9月1日		9月1日	広域し尿処理場竣工式（湯沢市）
9月4日		9月4日	四地区住民体育大会
9月6日		9月6日	全県議長研修会（飯田川町）至七日
9月9日		9月9日	議員全員協議会
9月14日		9月14日	村社会福祉大会
9月15日		9月15日	青年駅伝競走
9月17日		9月17日	議会運営委員会
9月19日		9月19日	第七回定例会招集